

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	685	鳥獣害防止事業	01	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を实践する	06	06	農林業費
			01	01	農業費
			03	03	農業振興費
担当部課名		青山支所産業建設課	106	106	鳥獣害防止事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	01	鳥獣害防止事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	水稲生産農家等で鳥獣害防止施設を設置する者	有害鳥獣による農業被害の防除を図る。
本年度事業内容	鳥獣害防止対策用施設設置事業に対する農業共済との協調補助金の交付業務。	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,624	840	840
	委託料			
	補助金	615	840	840
	備品	2,009		
	その他			
合計(A+B)		3,344	1,560	1,560
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	1,000		
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
	一般財源	2,344	1,560	1,560
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
交付件数	件	18	20	20			
鳥獣害による被害額	円	310,992	245,000	200,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
交付件数	本補助金は原則1箇所1回限りであるため、件数が増加すれば鳥獣害防止施設の整備が進み、被害が減少すると考えられる。	件	18 目標 ( )	20	20
鳥獣害による被害額	被害額の減少が効果である。 * 現状としては、農業共済による資料しかない。 * イノシシ218,196円(81.1a)、シカ92,796円(14.4a)	円	310,992 目標 ( )	245,000	200,000

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

当支所管内は市内で最もイノシシ、シカなどによる稲の食害被害が多く、従前は獣害対策用網の設置事業のみを補助対象としていたが、防除効果は万全でなく、平成16年度から電気柵も対象に加えたところ、その効果は著しく、急速に設置面積が増加した。支所間で補助金の過不足があり、本庁で一括して補助金の取扱いを行なう必要がある。

評価	必要性	4	今後、ますます有害鳥獣の個体数の増加が予測されるので、この事業に対する要求度は高くなるので、継続する。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		